

大雨・集中豪雨による 道路浸水について



内田 勝康
議員

今年は大雨警報が何度となく発令され、雷雨による集中豪雨がありました。本市でも道路冠水延べ29カ所、床下浸水1219戸、床上浸水53戸という被害が出ました。

現在の雨量監視システム、アンダーパスの水位感知システムについて伺います。また、道路冠水の危険性のある場所には注意を促す看板等を設置し、特に、ユリノキ通りのアンダーパス水没事故は3回も実例があり、7台も水没しているのです。ぜひ早く電光掲示方式で、冠水の情報を知らせるようにしていただきたい。

○建設部長

現在の雨量監視は、出勤した職員が目視で監視し、危険と判断した場合、通行止めをしています。水位感知及び市役所への伝達システムは、現在のところ設置していません。今回のような集中豪雨を考

えますと、ご提案の非常時に

センサーで水位を感知し、ドライバーに冠水状況をいち早く知らせる電光掲示板等警報装置の設置は、効果的な方法と考えます。今回の集中豪雨によるアンダーパスの冠水に至る状況を検証し、システムの設置とあわせて初動態勢の確立等、連絡体制の充実に取り組みたいと考えます。

このほか

○一ノ割地内豊武川用水から会之堀川への水門の補修について市・県の関わり
○買い物時のマイバッグ使用の推進啓発について



排水対策について



鳴島 武
議員

庄和地域の市街化調整区域内を流れる準用河川庄内領悪水路と18号水路は、杉戸境から中川へ流れる水路であり、流域で最も重要な排水路です。両河川とも未整備のため、

大雨が降るたびにのり面の一部や橋のたもとが崩れるなどの被害が発生しています。地元の人たちからも、早く整備してほしいという要望が数多く寄せられています。また、8月末の集中豪雨においても、満水状態となり、のり面が崩れた箇所が多く発生しているため、何としても早急な整備が必要と考えています。

そこで、昨年度に実施された測量委託と計画等策定委託の内容を伺います。また、今後の整備予定を伺います。

○建設部長

庄和地域における治水対策の推進を図ることを目的として、縦横断測量や中心線測量等の路線測量を実施しました。

また、測量委託の成果をもとに、低地における浸水被害の解消並びに内水被害の軽減対策のために河道の平面、縦断計画の検討を行い、整備計画書を作成したものです。

現在は、整備計画書をもとに県総合治水事務所と中川への排水放流について協議をしています。今後は、基本計画に基づき事業計画書を作成する予定であり、国庫補助事業により、年次的に最下流から整備したいと考えています。

このほか

○都市計画道路藤塚米島線の整備について

年金からの 天引きについて



片山いく子
議員

後期高齢者医療制度では、年間18万円以上の年金収入があれば保険料が年金から天引きされます。そうすると夫や世帯主の被扶養者となつて

いる人の保険料が所得控除の対象にならないため、同じ収入でも年金から天引きされる場合、夫や世帯主の口座振替と

する場合よりも所得税と住民税の負担が重くなるというところが問題となりました。

そこで国は、今年10月の年金から、対象者については年金天引きから口座振替に変えることができることにしました。本市では7月に対象者に通知したのですが、手続をされた方はわずか157人とのことです。対象となる方すべてが手続できるよう周知すべきです。

また、同じ不公平は介護保険料の年金天引きでもおこっています。このような制度の矛盾によって、市は不公平な住民税を課税することになってしまします。ぜひ、介護保険料も口座振替ができるようにすべきと考えますが、いかがでしょうか。

○財務担当部長

これは制度上の問題で全国共通の問題です。保険料の年金天引きによって所得税や住民税に不公平が生じないよう、埼玉県市町村税務協議会を通じて、国に見直しを要望していきたいと考えています。

このほか

○春日部駅西口タクシー乗り場について
○学校支援員について

国際交流について



中川 朗
議員

平成19年4月29日にオーストラリア、クイーンズランド州メリーボロー市と友好都市協定を締結いたしました。今年3月にメリーボロー市はハービーベイ、ティアロ、ウークーと合併し、新たにフレージャーコースト市になりました。合併後の当市との交流の現状について伺います。

また、フレージャーコースト市となり、都市名も変わっておりますので、これまでの友好都市協定にかえて、新たに協定の締結も行っていく必要があると考えます。市長がフレージャーコースト市を訪問して、新たな友好都市協定の調印を行うべきと思いますが、市長の考えを伺います。

○市民部長

合併後の交流ですが、本年7月7日から14日まで、春日部市国際交流協会のメンバー8名が訪問し、春日部市長からの親書を携えていただきま

した。その後、フレージャーコースト市議会で審議された結果、11年にわたる友好関係を継続することです。

○市長

都市協定が合併後も実質的には継承されていることが確認できましたので、今後必要に応じ、改めてフレージャーコースト市との友好都市協定書の調印を検討します。また、近い将来にお伺いしたい意欲があることを先方に伝えます。

このほか

○地方公共団体の公会計制度の整備について

○事業の仕分けについて



姉妹校協定書の調印式

行政事務の簡素化 ワンストップサービスについて



栗原 信司
議員

市では総合受付の窓口を開設し、来庁者のために便宜を図っています。しかし、転入や身内に起きた不幸の際の行政手続などは、それぞれの担当課に何度も同じ説明をしなければなりません。

この手続を一度で済ませる取り組み、いわゆる「ワンストップサービス」ができないものかお伺いします。

○総合政策部長

1カ所で必要とする関連手続を済ませることができるよう合窓口の実現は、来庁する市民の皆さんの利便性を向上するため、非常に有効な方策であると認識しています。

できるところから進めており、平成19年4月から福祉総合窓口を設置しました。

○市民部長

現在、市民課窓口では、ご家族がお亡くなりになった後の市への事務手続一覧表をご用意し、お渡ししています。

今後は、事務手続一覧表をお渡しする際、新たに死亡届連絡カードも併せてお渡しする等、同じ説明を繰り返さなくても済むような対応を考え、必要があると考えています。さらに、障がいのある方や高齢の方などを含め、死亡に関する手続をワンストップでできるように、関係各課と協議します。

このほか

○公共施設の利用に関して
○路上喫煙の防止に関する条例の制定について
○クールアース・デーに関する取り組みについて

指定管理者制度の問題点について



武彦
議員
卯月

保育所への指定管理者制度導入は、既に6月議会で条例改正が成立していますが、指定管理者への移行を中止するように求めたいと思います。

そもそも指定管理者導入の目的と最大のメリットが人件費の削減であり、子どもたちのために、よりよい保育を行

おうという発想から出発したものではありません。人件費の削減によって、経験の浅い保育士ばかりになるなど、保育内容の低下は避けられないと思います。子育て日本一というのであれば、よりよい保育を提供するにはどうしたらよいかを最優先に考えるべきです。また、保育には安定性、継続性、専門性が求められます。指定管理者で保育内容はよくなると考えているのでしょうか。

また、父母の合意がないまま移行することは認められません。父母の反対があった場合には断念すべきだと思いますが、いかがでしょうか。

○福祉健康部長

公立で行ってきた保育内容はすべて継承したいと考えています。その上で民間の創意工夫によって、よりよい保育サービスの提供を期待するものであり、保育内容が低下するとは考えていません。

また、保育の継続性と保護者への理解を得る取り組みを丁寧に実施し、導入を図っていきます。反対する保護者に対しては粘り強く説明します。

このほか

○武里団地の集約化について

東中学校建設用地 (県有地)の取得を早急に



小島 文男
議員

東中学校建設にかかわる用地の取得ですが、大変安い価格で取得できたという話を聞きました。まだ契約には至っていないようですが、今、幸松地区の子ども、親、地域社会にとって、この問題は非常に大きな関心がありますので、用地の取得の経過、あるいは、これから契約する、そしてまた用地を取得する今後の計画についてお伺いします。

○学校教育部長

用地の取得の経過ですが、ことしの2月18日に県から売却の提示額が示され、取り壊し費用を差し引いた金額で1億9657万5千円の提示がありました。3月下旬に関係部署と協議をし、建物解体撤去費の中で、旧農業振興センター施設のくいを全部抜いた算定とアスベストの撤去費を算定して提示し、また、市が3分の1で売却したことも交渉の中で主張しました。また、

地元県会議員の多大なご協力をいただき、7月24日に用地費として9200万円の提示があり、市では今年度中に取得できるように考えています。

今後の計画ですが、今年度中に基本設計に入り、平成21年度に実施設計を予定し、平成22年、23年で校舎建設、平成24年度に既設校舎解体と同時に入校舎へ移転ができるよう現在計画を進めています。

このほか

○学校教育とPTAのあり方について

○ポトピアの誘致と土地活用による担税力強化について

市立病院について



阿部真理子
議員

10月1日より市立病院に地方公営企業法の全部を適用し、事業管理者が設置されます。

先の議会では、全適後、3年を目標に経営改善を図り、改善された段階で累積欠損金の解消を考えていくということであり、財政計画は示されていません。42億円の累積赤字

を一時棚上げしての全適で、何がかわるのかお伺いします。

○病院事務部長

42億円の累積欠損金を短期間で解消することは困難であり、当面の課題として、単年度の収支均衡を図りながら、新たな欠損金が生じないように努力してまいります。

○病院長

管理者としてできることは、経営健全化は医師の確保以外にないと思っています。全適するに際して、人事考課システムの導入や医師の柔軟な雇用体系を作る等により、医師の確保に努めてまいります。

○市長

累積欠損金について今後事業管理者と協議し、計画的解消の検討をします。負担金・補助金についても今年度中に繰出し基準を明確にし、適正に繰出しし、また、病院側の最大限の努力によっても収支不足の場合、事業管理者と協議をし、病院開設者としての責任を果たしたいと考えます。

このほか

○国民健康保険特別会計の財政状況と今後の見通しについて

○庄和総合支所の現状と今後について

ごみ減量化 対策について



岩谷 一弘
議員

当市の責務としてのごみ減量化対策について質問します。

- ①一般廃棄物処理基本計画における主な施策について
- ②ごみ発生量についての推移
- ③廃プラ分別強化について
- ④生ごみ処理強化について

○環境経済部長

計画の基本理念は「ごみを減らし、ごみを活かす環境にやさしいまちづくりを目指し」と定め、3R(リデュース、リユース、リサイクル)及びごみの適正処理を目指すため4つの基本方針を策定しています。レジ袋でのごみ排出を禁止した平成19年度の可燃ごみ、不燃ごみは、前年度比約1400トンの減量となっており、レジ袋削減が減量効果の要因と推測しています。

廃プラ分別については、一般廃棄物の減量化、資源化を第一義的に考えた方策に取り組んでいきたいと考えています。生ごみ処理容器購入費補

助に関するご質問ですが、ごみの減量化に非常に有効な方法であると考えています。当市では、家庭から出る生ごみの減量を図るため、生ごみ処理容器を購入した市民の方に対して補助金を交付しており、補助金額は、容器式、機械式とも購入費の2分の1以内で、上限額を容器式の場合は4500円、機械式の場合は2万円となっています。

このほか

○春日部市の教育行政について

○指定保養所の利用助成について



環境センター

市立病院の 経営改善について



英明 議員
滝澤

市立病院の経営改善に向けた第一歩として、地方公営企業法の全部適用が決まりました。今後、経営改善にどのように取り組まれていくのでしょうか。

また、これまでも市立病院の設置者である市長部局側、病院再整備担当を置くことを提言してまいりました。今回の全部適用を契機として、前向きに未来へ向かうための新しい組織体制が非常に大事だと思います。

改めて、再整備計画などを専門的に検討していく部署の設置を強く要望いたします。

○病院長

今回の経営形態の転換を契機として、経営のトップから職員一人一人に至るまで、病院運営のビジョンと戦略を共有できる環境を整えていく必要があり、医療人としての自覚と経営意識をあわせ持つよう、職員の意識改革に取り組

んでまいります。

○市長

春日部市の医療政策、市立病院の役割、再整備計画については、春日部市にとりましても重要な施策ととらえています。

そこで、総合振興計画第一期実施計画に明記している再整備基本計画を推進するためにも、事業管理者と協議しつつ、来年度当初の設置に向けて検討してまいります。

このほか

○電子市役所の推進について
○ふれあい拠点施設整備事業について

上野長宮線のその後の 進捗状況について



保 議員
山口

上野長宮線の延伸については6月議会でもお聞きしましたが、その後の進捗状況はいかがでしょうか。さいたま市の土地区画整理事業により、増戸の境までの約300メートルが今年度に開通すると聞いております。増戸市内の地権者の方々は、継続して道路

の延伸をしてほしいと希望しております。

なぜ、春日部市は率先して県にお願ひして、越谷土木整備事務所とタイアップしながら協議を進めていけないのでしょうか。その接点を見出すことが、建設部の仕事であり、市長の手腕の見せどころだと思います。

○建設部長

本路線は、県事業として進めてきた経緯と市域を越える幹線道路のため、必然的に県施行がふさわしいと考えています。また、さいたま市の都市計画道路であるため、事業主体についても、本市の前にさいたま市が優先されるものと考えています。

当市としても、県に対して、これまで同様に機会あるごとに要望を行ってまいります。

○市長

幹線道路として重要な都市整備基盤であることは十分認識しています。従来からの経緯を踏まえながら、県をはじめ関係機関と十分連携を図り、検討してまいります。

このほか

○袋陣屋線の道路の建設について
○放置自転車の整理について

環境問題について



靖造 議員
蛭間

太陽光発電は再生可能なエネルギーであり、この分野で世界的に有力な5社のうち日本企業が3社入っています。しかし、平成17年以降、日本は発電量において世界第2位となってしまう大変残念な状況です。

わが市においても、この太陽光発電を公共施設などに積極的に導入し、余った電力会社へ売ることができないでしようか。そのような地域でエネルギーを作りだし、それを地域で消費するようなシステムができれば、それに関連する会社等を誘致し、雇用も促進されることになると思います。いかがでしょうか。

○環境経済部長

太陽光発電の分野で日本は平成17年度まで世界第1位でしたが、国が補助金を打ち切った年を境に累計導入量が減り、ドイツに次いで世界第2位となってしまいました。助

成制度の打ち切りが設置減につながっていると思われ、経済産業省は平成21年度予算の概算要求で238億円を求め、導入補助金を4年ぶりに復活させるとしています。

埼玉県は年間の快晴率が高く、太陽光発電に適した土地であり、市内公共施設では現在8施設に導入しています。本市の環境基本計画でも平成24年度には20施設への導入を目標としていますので、新たな公共施設の設置に際しては、導入に努めてまいります。

このほか

○労働環境について



ソーラーシステム

地域で子育ての 支援について



野口 浩昭
議員

本市では現在子育てで日本一に向けてさまざまな施策が実施されており、しかし、子育てに関する市民ニーズは多種多様化しており、行政のみですべてのニーズにこたえることは難しい状況にあると思われま。

そこで、現在の子育て支援に関する関係団体との連携や情報交換などネットワークの状況についてお聞きするとともに、市民と市の協働による子育て支援サービスの一層の充実を要望いたします。

福祉健康部長

現在、市のさまざまな子育て支援事業の実施にあたりNPOや子育てサークル、地域の高齢者の方々から協力、連携をいただいています。今後、市とこれらの関係者が、より多くの情報を共有し、連携すること、活動の活性化や子育て支援施策のさらなる推進が図られると考えています。

また、県では総合支援窓口、子育て支援ネットワーク、地域子育て支援拠点の3点を満たす自治体を地域子育て応援タウンとして認定しています。

当市は地域子育て支援拠点以外は満たしており、今後認定を目指すとともに、日本一子育てしやすいまちの推進役を担う地域子育て協議会的な組織をつくり、地域社会で子どもと子育てを支えあう仕組みづくりの実現を目指します。

このほか

- 土地利用推進について
- 国道4号バイパスの4車線化の促進について



プチエンゼルのつどい

春日部駅付近 連続立体交差事業について



白土 幸仁
議員

春日部駅付近連続立体交差事業は、当市の中心市街地である駅周辺の活性化や踏切対策を含む交通円滑化のためには、ぜひとも必要な事業であると確信しています。

この事業の区間にある踏切では、ピーク時には1時間当たり約58分も踏切が遮断しており、県下最長と聞いています。また、子育て真っ盛りでベビーカーを押すお母さま方や障がいをお持ちの方々が東西の往来をできずにいます。事業を早く進めていただきたいと考えますが、現在の進捗状況と事業の重要性について、お伺いします。

鉄道高架担当部長

進捗状況については、県が都市計画決定に向けて、国、事業者と協議を進めています。平成17年に着工準備採択を受け、近隣の野田市と比較して、若干の遅れはありますが、来年には都市計画決定を予定

しており、おおむね順調に進んでいます。

市長

本年4月からスタートした総合振興計画においても、中心市街地における基幹事業であり、事業効果が非常に高く、商都復活を目指す当市にとって欠かすことのできない、特に重要な事業です。

1日も早い工事への着手と事業の完成を目指し、引き続き全力を挙げて取り組んでまいります。

このほか

- 地域の防犯力の向上について

春日部駅西口 雨よけ対策



渡田 智秀
議員

この質問は、昨年12月定例会市議会でも一般質問しています。このときは東武鉄道と協議してまいりたいとの答弁でした。

今回は、その後の進捗状況について伺いたい。

建設部長

幅18メートル、奥行き3メ

ートル、高さ4・25メートルの設計が完成しましたので、春日部駅西口改札前から券売機までの雨よけ屋根を年度内に設置してまいります。

このほか

- 市民武道館の駐車場について
- 突発的集中豪雨対策について
- 大風花火大会の今後について
- 新方川改修工事について
- 学校教育について

お知らせ

市議会では、多くの方々に市議会の実態を広く知ってもらう、触れていただくために、議会映像中継システムの導入に向け準備を進めています。議会映像中継は、インターネットを通じて、本会議の様子を生中継及び録画中継するものです。なお、開始時期等については、市議会ホームページでお知らせします。

春日部市議会

ホームページアドレス

<http://www.kasukabe-shigikai.jp>